

開催中の企画展

技を極める—ヴァン クリーフ&アーペル ハイジュエリーと日本の工芸

～8月6日(日)まで



本展では、ヴァン クリーフ&アーペルの「技」と、長い歴史の中で育まれた日本工芸の「技」の対比や結びつきを紹介しています。ぜひ作品を見比べながら、秘められている「技」に思いをはせるとともに、日本とフランスの文化の「親和性」や「類似性」を感じ取ってみてください。

そして、建築家の藤本壮介氏による会場デザインも見どころのひとつ。鮎屋のカウンターを思わせるような18メートルの檜のテーブルや、多くのガラスケースを林立させた空間演出(写真左)に



心を奪われます。会場の一角には、ヴァン クリーフ&アーペルの工房を再現したエリアや、ジュエリー制作が楽しめるゲームも(写真右)。他館への巡回はありませんので、この機会をお見逃しなく！

※会期中、一部展示替えを行います(前期6/18まで、後期6/20～8/6)。

今後のイベント

記念レクチャー

6月3日(土) 午後1時～2時30分 ※逐次通訳付き
ニコラ・ボス氏(ヴァン クリーフ&アーペル プレジデント兼 CEO)
藤本壮介氏(建築家、本展会場デザイン担当)

7月8日(土) 午後2時～3時
名和光道氏(ヴァン クリーフ&アーペル デザイナー)
松原龍一(当館学芸課長)

※いずれも会場は当館1階講堂、定員100名。
※当日午前11時より1階にて整理券配布。聴講無料(要観覧券)。

「ハイジュエリーが生まれる瞬間」 対話とデザインワークショップ

7月9日(日) 午前10時30分～12時 | 午後2時～3時30分
講師：名和光道氏(ヴァン クリーフ&アーペル デザイナー)
対象：小学4年生以上、どなたでも | 各回15名(事前申込制)

※5月29日(月)午前10時よりメールでの申込受付を開始します。
詳細は当館ホームページをご覧ください。

友の会特別解説会

6月2日(金) 午後5時～6時

まだ定員に余裕があります！ご興味のある方はぜひお申し込みください。

(右) 安藤緑山《竹の子、梅》大正・昭和時代、当館蔵



金曜・土曜は夜間開館します

～6月末まで：午後8時まで開館

7月、8月：午後9時まで開館

お仕事帰りや学校帰りのひとときに、
ゆっくり作品鑑賞はいかがでしょう？



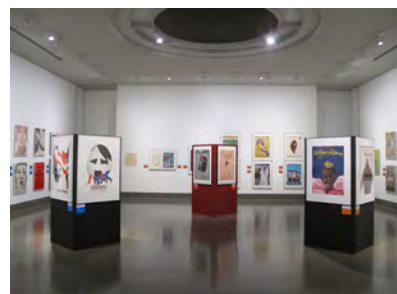
開催中の企画展

戦後ドイツの映画ポスター

～6月11日(日)まで

ドイツでは、第二次世界大戦後の分断から1990年に統一されるまでの間、東西で別々の映画文化が展開しました。映画ポスターの表現においても、西ドイツでは、時に大胆なタイポグラフィに訴えた鮮烈なポスターが制作される一方で、東ドイツでは、DEFAの采配のもと、内省的な、しかし宣伝美術の枠に囚われない自在な表現が生み出されました。

会場では西ドイツのポスター45点、東ドイツのポスター40点を展示し、「西」と「東」で作品キャプションを色分けしています。「壁」のどちら側で制作されたポスターかを知った上でご覧いただくと、それぞれの映画文化の歴史をより身近に感じられるかもしれません。

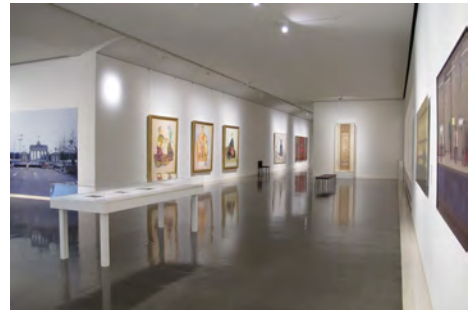


会場風景

コレクション展 平成29年度 第1回 コレクション展

～6月11日(日)まで

今回は「技を極める」展にちなんで、日本画コーナーでは、装飾品を身につけた観音像などを描いた仏画、また工芸コーナーでは1980年代の「コンテンポラリー・ジュエリー」をご覧ください。また「戦後ドイツの映画ポスター」展に関連し、佐伯祐三やモーリス・ユトリロによる「広告のある街角」を捉えた作品、さらには近年収集した洋画のお披露目展示も行っています。



会場風景

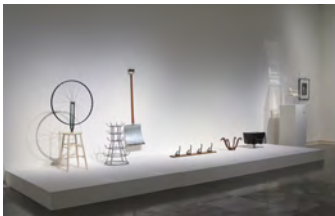


キュレトリアル・スタディズ 12: 泉 / Fountain 1917-2017

Case 1:

マルセル・デュシャン 29歳、便器を展覧会に出品する

現在開催中の「Case 1」では、代表作《泉》のほか、当館および国立国際美術館が所蔵する作品や資料をまとめてご覧いただけます。写真撮影もOK！



デュシャンのレディメイド作品がずらり！

この展示に引き続き、「Case 2: He CHOSE it.」(会期: 6月14日～8月6日)、「Case 3: 誰が《泉》を捨てたのか」(会期: 8月9日～10月22日)と視点を変えながら、《泉》とデュシャンの作品にまつわるさまざまな問題について考えます。

【予告】第2回 コレクション展

6月14日(水)～8月6日(日)

- ・近代フランス絵画の精華ー印象派からエコール・ド・パリ
- ・夏の日本画
- ・カッサンドルのポスター
- ・河井寛次郎の陶芸ー初期作品を中心に

など

ご存知ですか？ 音声ガイドサービス

以下のQRコードからアプリをダウンロードすると、当館の所蔵作品についての解説をお楽しみいただけます。現在、美術館の概要やコレクション・ギャラリーに展示中の作品に関する解説などを配信中！展示室では、イヤホンでのご利用も可能。ぜひお試しください！

iOS版 (App store)



Android版 (Google play)



※このサイトは試行版のため、予告なく閉鎖することがあります

京都のみやびとモダン

ー京都国立近代美術館所蔵 日本画・工芸名品展ー

群馬県立館林美術館にて開催中！

前期：開催中～5月21日(日)まで

後期：5月24日(水)～6月25日(日)

上村松園、竹内栖鳳、北大路魯山人、森口邦彦など、当館の代表的な作品を一挙にご覧いただけるチャンス！お近くの方や館林にお立ち寄りの際は、ぜひ足をお運びください。

展覧会チラシ



お知らせ：観覧券について

「友の会特別解説会」にご参加の際は、観覧券は不要です。一般の方も参加可能な「ギャラリートーク」等で企画展会場に入場される場合は、観覧券のご提示が必要となります。すでに1回以上ご入場された場合(会員証裏に該当する企画展のスタンプが押されている場合)は、お手数ですが観覧券(団体料金)を別途ご準備ください。

講堂をリニューアルしました！

今春、およそ5か月にわたる改修工事を経て、講堂の音響や照明設備、スクリーン、机、床などを一新しました。イベント等で講堂にお越しになられた際は、新しく生まれ変わった姿にご注目いただけますと幸いです。

改修後の様子



京都国立近代美術館賛助会員
当館は下記、賛助会員の皆様からご支援・ご支持をいただいております。

<特別会員>



<一般会員>

